

# 人権に関する県民意識調査概要

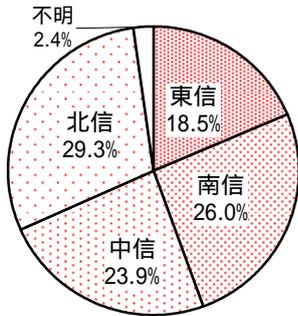
資料 2 - 3

平成13年1月社会部人権・同和政策課調査  
企画局人権・男女共同参画課調製

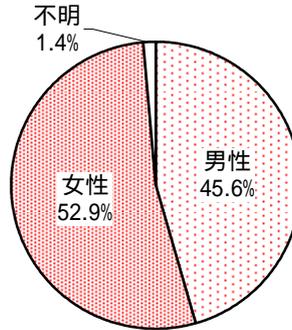
## 1 回答者の属性

アンケート送付総数 3,000 人  
回答者数 1,356 人  
回答率 45.2%

### (1) 地域別



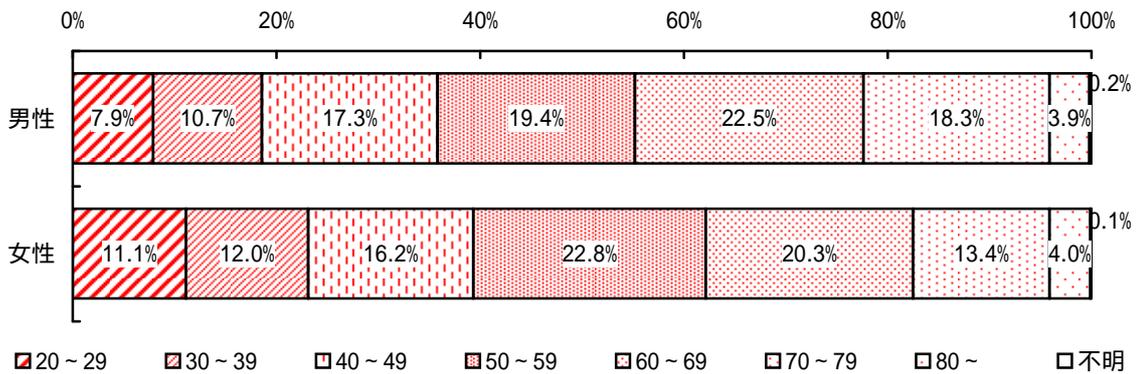
### (2) 性別



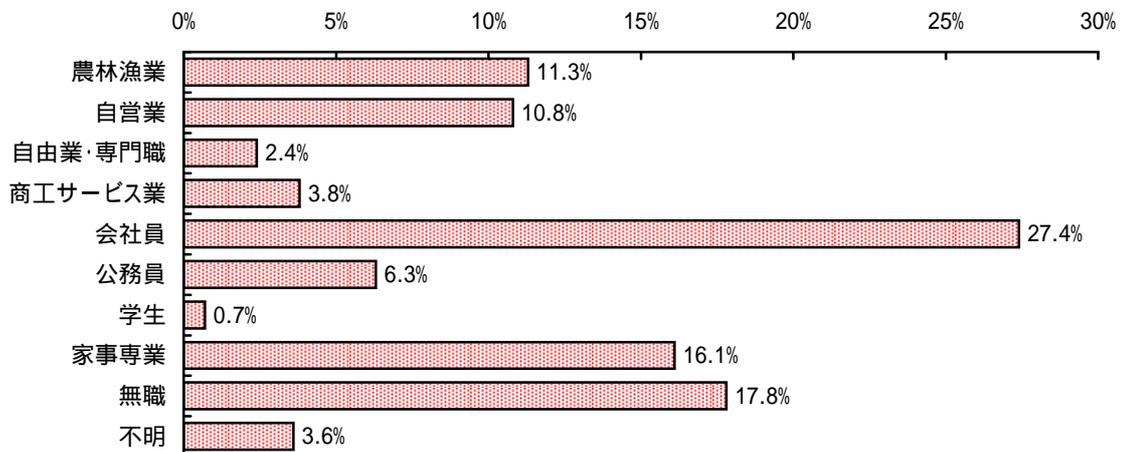
区分	回答者数
男性	619
女性	718
不明	19
計	1,356

区分	東信	南信	中信	北信	不明	計
回答者数	251	352	324	397	32	1,356

### (3) 年齢別



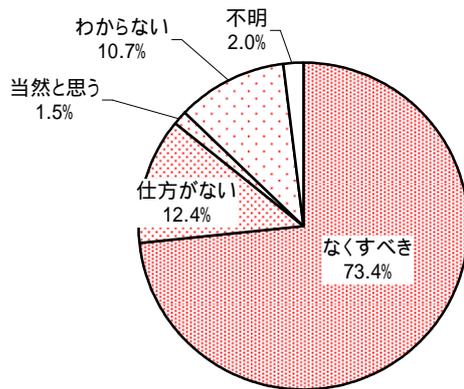
### (4) 職業別



## 2 調査結果の概要

質問1 日本には、いろいろな風習がありますが、次の(1)、(2)のそれぞれについて、あなたはどのように思いますか。

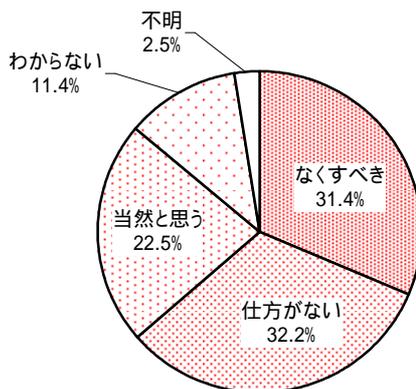
(1) 「ひのえうま」の生まれであるということで結婚をいやがる風習( は1つ)



- 1 まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- 2 おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- 3 当然のことと思う
- 4 わからない

7割を超える人が、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と回答している。

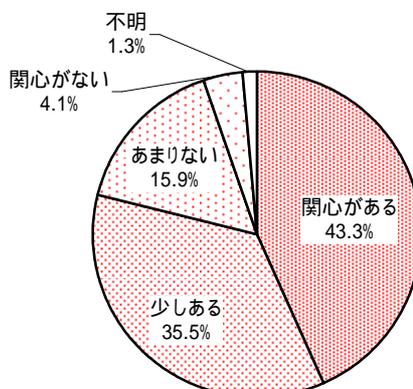
(2) 結婚式は「大安」が一番よいという風習( は1つ)



- 1 まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- 2 おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- 3 当然のことと思う
- 4 わからない

「なくしていかなければならない」という人は3割で、「自分だけ反対しても仕方ない」「当然のことと思う」人が5割を超えている。

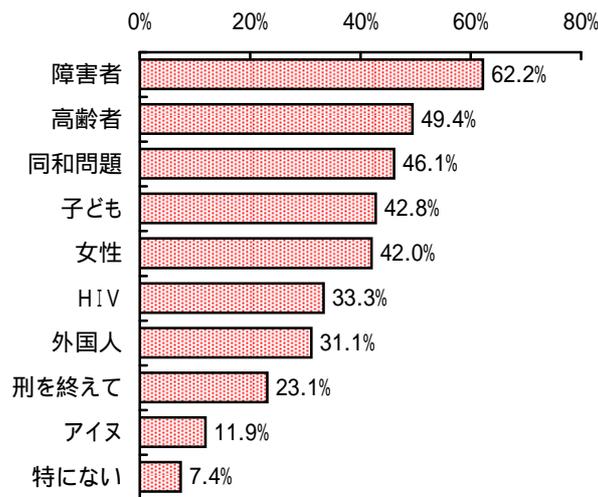
質問2 日本の社会では、部落差別をはじめ、障害者や外国人等に対する差別が深刻な問題となっていますが、あなたは、人権問題に関心を持っていますか。( は1つ)



- 1 関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 関心がない

「関心がある」、「少し関心がある」を合わせた関心を持っている人は79%と多い。

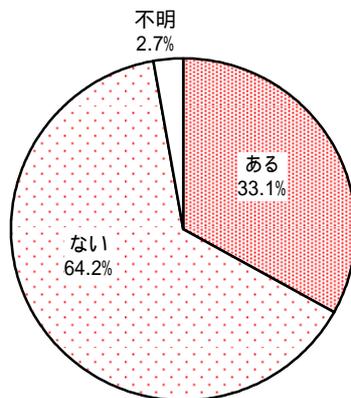
質問3 日本の社会には、基本的人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたの関心のあるものをすべてあげてください。(複数回答)



- 1 同和問題
- 2 女性に関する問題
- 3 子供に関する問題
- 4 高齢者に関する問題
- 5 障害者に関する問題
- 6 外国人に関する問題
- 7 HIV感染者等に関する問題
- 8 刑を終えて出所した人に関する問題
- 9 アイヌの人々に関する問題
- 10 特にない

関心のある人権問題は、「障害者に関する問題」が62.2%と非常に高く、「高齢者」、「同和問題」が約50%となっている。

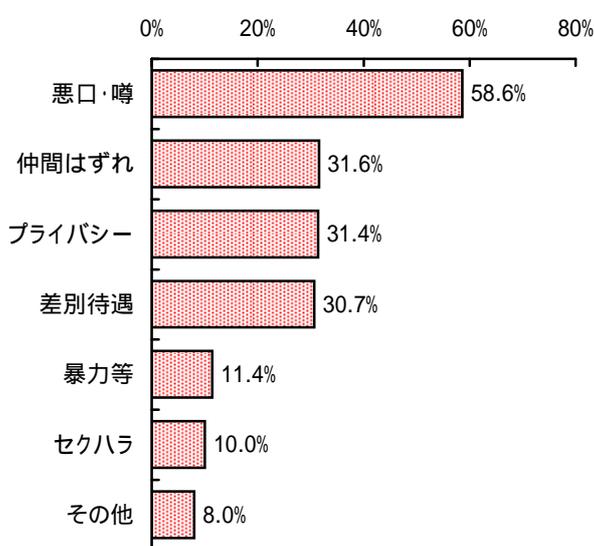
質問4 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



- 1 ある
- 2 ない

3人に1人が、人権を侵害されたと思ったことがあると回答している。

質問5 質問4で「ある」と答えた方へ。その人権侵害はどのようなものでしたか。(複数回答)

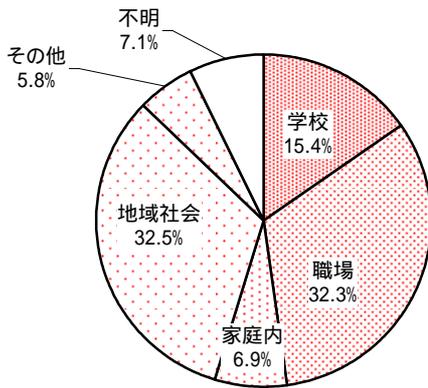


- 1 悪口・噂
- 2 仲間はずれ・無視
- 3 プライバシーの侵害
- 4 差別待遇
- 5 暴力・脅迫・強要
- 6 セクシュアルハラスメント
- 7 その他

人権侵害の内容は「悪口・噂」が6割と非常に高く、ついで「仲間はずれ・無視」、「プライバシーの侵害」、「差別待遇」が3割を超えている。

質問6 質問4で「ある」と答えた方へ。その人権侵害はどこでありましたか。( は1つ)

- 1 学校
- 2 職場
- 3 家庭内
- 4 地域社会
- 5 その他

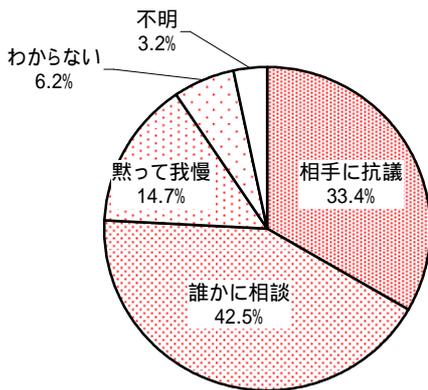


人権侵害を受けた場所は、「地域社会」、「職場」がそれぞれ3割を超えている。

質問7 あなたが、ご自分の人権を侵害された場合についてお伺いします。次の(1)～(2)のそれぞれについてお答えください。

(1)人権を侵害された場合、まず、どのような対応をしますか。( は1つ)

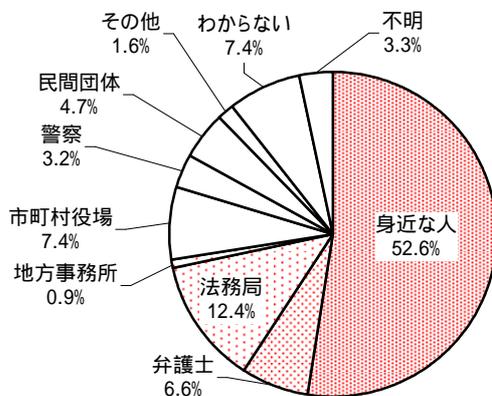
- 1 相手に抗議する
- 2 誰かに(どこかに)相談する
- 3 黙って我慢する
- 4 わからない



3人に1人は、「相手に抗議」しようと考えており、4割を超える人は「誰かに相談」するつもりでいる。

(2)人権を侵害された場合、相談するとしたらどこに相談しますか。( は1つ)

- 1 身近な人
- 2 弁護士
- 3 法務局又は人権擁護委員
- 4 地方事務所など県の機関
- 5 市役所や町村役場

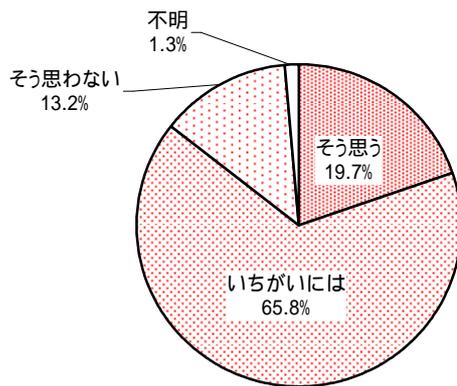


半数の人が「身近な人」に相談しようと思っている。

質問8 日本の人権問題についてお伺いします。次の(1)～(2)のそれぞれについて、あなたはどのように思いますか。

(1)今の日本は、基本的人権が尊重されている社会である。( は1つ)

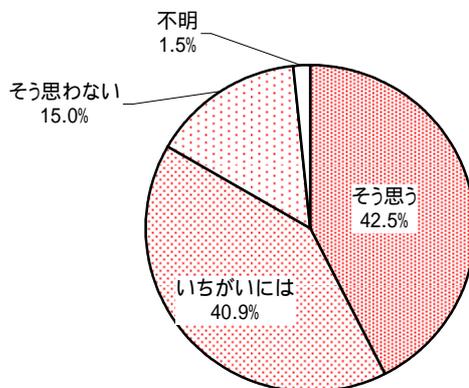
- 1 そう思う
- 2 いちがいにはいえない
- 3 そうは思わない



3人に2人は、「いちがいにはいえない」と考えている。

(2)国民一人ひとりの人権意識が10年前に比べて高くなっている。( は1つ)

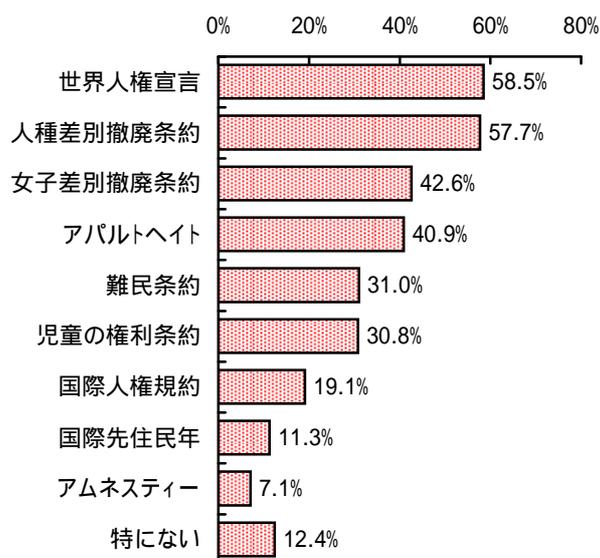
- 1 そう思う
- 2 いちがいにはいえない
- 3 そうは思わない



「10年前より高くなっていると思う人」が42.5%で、「いちがいにはいえない」が40.9%と拮抗している。

質問9 人権にかかわる国際的なことから、あなたが見聞きしたことがあるものをすべてあげてください。

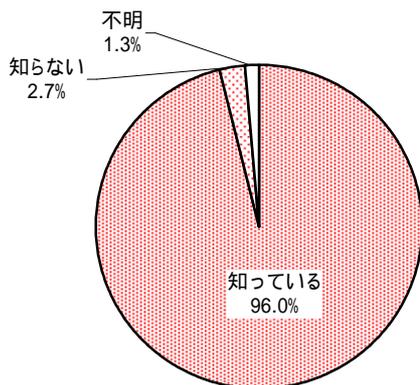
(複数回答)



- 1 世界人権宣言
- 2 人種差別撤廃条約
- 3 国際人権規約
- 4 女子差別撤廃条約
- 5 難民条約
- 6 児童の権利条約
- 7 国際先住民年
- 8 アパルトヘイト
- 9 アムネスティー・インターナショナル
- 10 特にない

世界人権宣言と人種差別撤廃条約の認知度が高い。

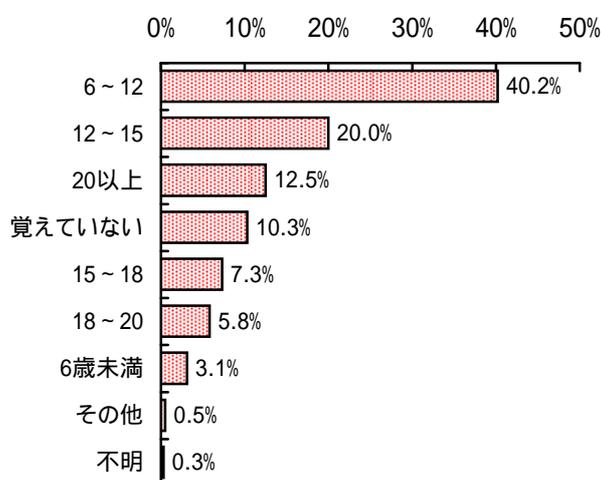
質問10 あなたは、日本の社会に「同和問題」(部落差別問題)があることを知っていますか。( は1つ)



- 1 知っている
- 2 知らない

「同和問題」をほとんどの人が「知っている」。

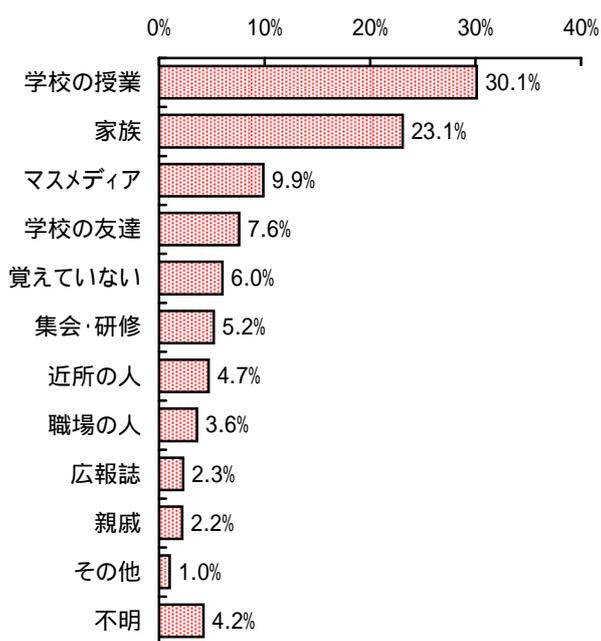
質問11 あなたが同和問題について、はじめて知ったのは、いつ頃ですか。( は1つ)



- 1 6歳未満
- 2 6歳から12歳の時
- 3 12歳から15歳の時
- 4 15歳から18歳の時
- 5 18歳から20歳の時
- 6 20歳以上
- 7 はっきりと覚えていない
- 8 その他

6割の人が、小学生か中学生の頃、はじめて知っている。

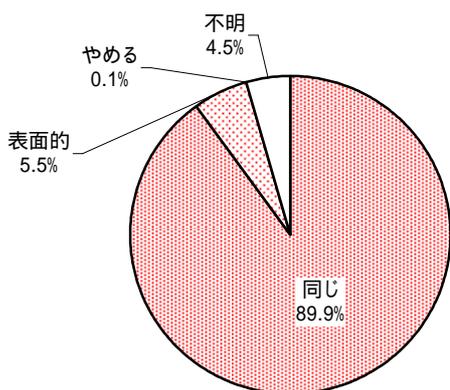
質問12 あなたが同和問題について、はじめて知ったきっかけは何ですか。



- 1 家族から聞いた
- 2 親戚の人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 職場の人から聞いた
- 5 学校の友達から聞いた
- 6 学校の授業で教わった
- 7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った
- 8 同和問題の集会や研修会で知った
- 9 県や市町村の広報誌や冊子で知った
- 10 はっきり覚えていない
- 11 その他

「学校の授業」や「家族」から知ることが多い。

質問13 日ごろ親しくつきあっている隣近所の人が、同和地区の人であることを知った場合、あなたの態度は変わりますか。( は1つ)



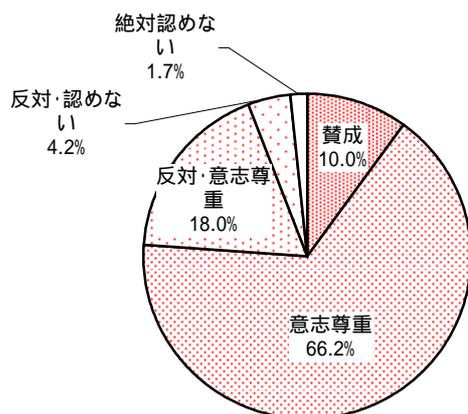
- 1 これまでと同じように親しくつきあう
- 2 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていく
- 3 つきあいはやめてしまう

90%の人が「これまでと同じように親しくつきあう」と考えている。

質問14 結婚していないお子さんをお持ちの方は(1)、結婚されていない方は(2)にお答えください。どちらにも該当しない方は質問15へお進みください。

(1) [結婚していないお子さんをお持ちの方がお答えください]

あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であると知った場合、あなたは どうしますか。( は1つ)

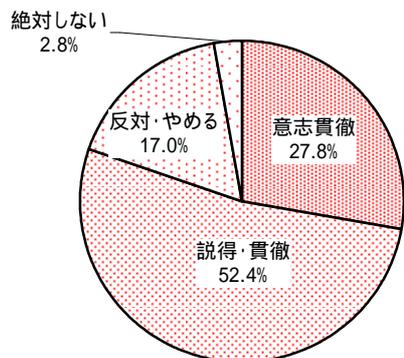


- 1 賛成し、協力する
- 2 子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない
- 3 親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたない
- 4 家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- 5 絶対に結婚を認めない

賛成又は意志を尊重し、結婚に反対しない人は76%を占めている。

(2) [結婚されていない方がお答えください]

あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたらあなたは どうしますか。( は1つ)

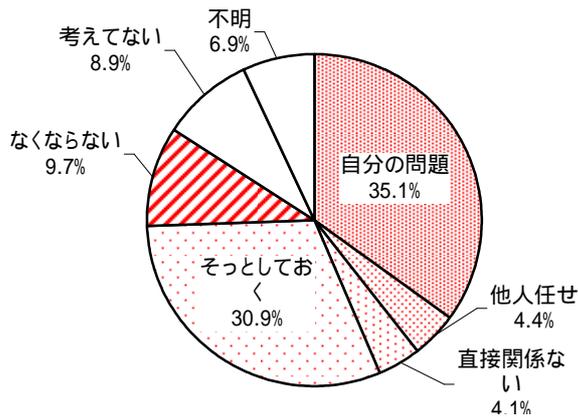


- 1 自分の意志を貫いて結婚する
- 2 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する
- 3 家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない
- 4 絶対に結婚しない

結婚すると答えた人は、80%となっている。

質問15 同和問題の解決についてお伺いします。次の(1)～(2)のそれぞれについて、お答えください。

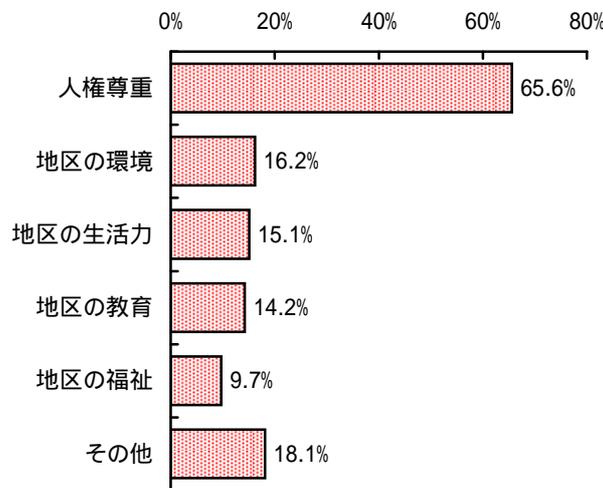
(1) 同和問題の解決に対するあなたの考えはどれですか。( 1は1つ)



- 1 自分の問題として解決に努力すべきだと思う
- 2 誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 3 自分とは直接関係のない問題だと思う
- 4 そっとしておけば差別は自然になくなる
- 5 どのようにしても差別はなくなる
- 6 よく考えていない

自分の問題と考える人が35%いる一方、そっとしておく等の消極的考えが31%ある。

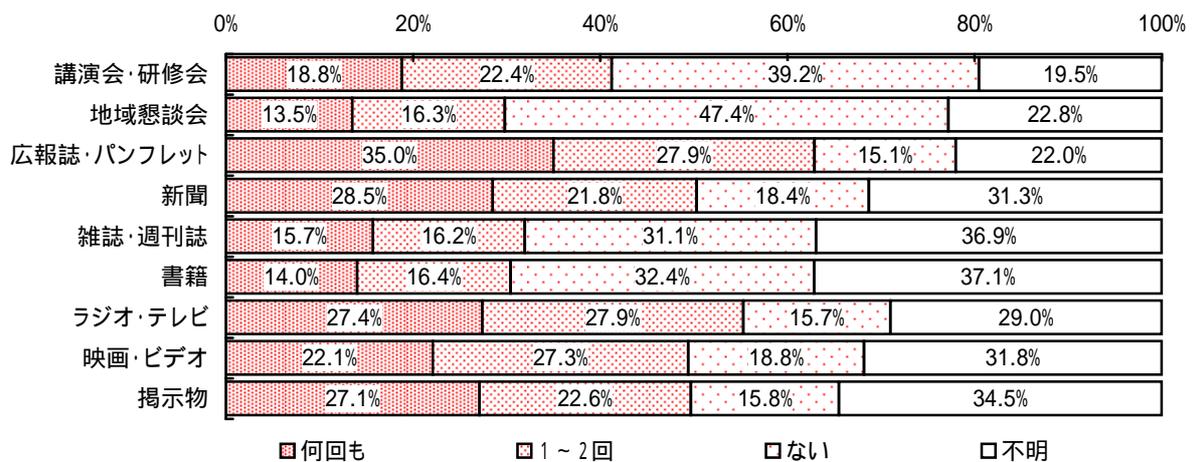
(2) 同和問題を解決するためには、どのような施策が必要だと考えますか。あなたが必要と考えるものを選んでください。(複数回答)



- 1 人権尊重の意識を高めるための啓発・教育を行う
- 2 同和地区の人が十分に教育を受けられるようにする
- 3 同和地区の人の収入の安定・向上をはかり、生活力を高める
- 4 同和地区の人の福祉の増進を図る
- 5 同和地区の住宅環境や生活環境を改善・整備する
- 6 その他

「啓発・教育を行う」が約3分の2を占めている。

質問16 あなたは、これまでに「同和問題」についての講演会や研修会に参加されたり、新聞や雑誌の「同和問題」に関連した記事を読まれたりしたことがありますか。(1)～(9)のそれぞれについてお答えください。( 1はそれぞれに1つ)

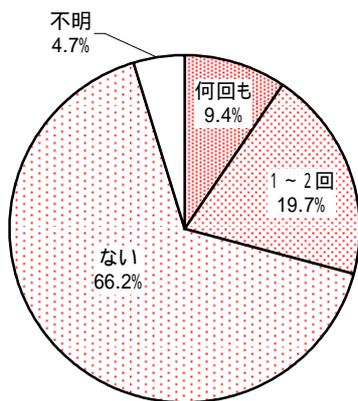


- 1 何回となく参加した
- 2 1～2回参加した
- 3 参加したことはない

- 1 何回となく読んだり、見たりした
- 2 1～2回読んだり、見たりした
- 3 読んだり、見たりしたことはない

講演会・研修会には41.2%の人が1回以上参加している。「広報誌・パンフレット」、「テレビ・ラジオ」、「新聞」で1回以上目にした人が50%を超えている。

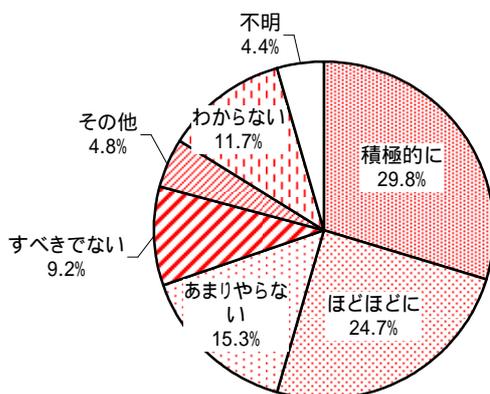
質問17 あなたは、同和問題以外の女性、子ども、高齢者、障害者、在日外国人等の人権問題に関連する講演会、研修会に参加したことがありますか。( 1は1つ)



- 1 何回となく参加した
- 2 1~2回参加した
- 3 参加したことはない

「参加したことはない」人が3人に2人を占めている。

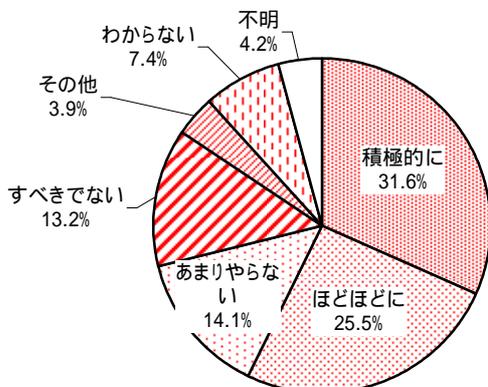
質問18 同和問題について啓発(講演会、研修会、映画会、広報等)を、今後どのようにすればよいと思いますか。( 1は1つ)



- 1 積極的に行うべきである
- 2 ほとほとにすべきである
- 3 あまりやらない方がよい
- 4 やるべきではない
- 5 その他
- 6 わからない

「積極的に」は30%で、「ほとほとに」を加えると55%となっている。

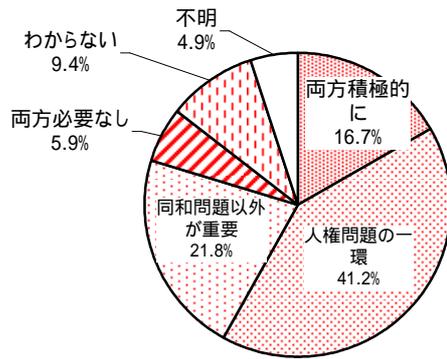
質問19 小・中学校など義務教育での「同和教育」について、あなたの考えはどれですか。( 1は1つ)



- 1 積極的に行うべきである
- 2 ほとほとにすべきである
- 3 あまりやらない方がよい
- 4 やるべきではない
- 5 その他
- 6 わからない

「積極的に」は32%で、「ほとほとに」を加えると58%となっている。

質問20 人権問題には、同和問題をはじめ、女性、障害者、在日外国人、アイヌの人々等の問題がありますが、今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたの考えはどれですか。( 1は1つ)



「人権問題の一環として同和問題と……」という人が41%となっている。

- 1 同和問題について積極的な啓発・教育を行うとともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである
- 2 人権問題全体の啓発・教育の一環として同和問題の啓発・教育も行うべきである
- 3 同和問題以外の人権問題についての啓発・教育の方が重要である
- 4 同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要ない
- 5 わからない